

# 第12期(2017年3月期)第2四半期決算説明会

2016年11月22日



アジアパイルホールディングス株式会社

# 目次

I. 決算のポイント、主なトピックス	2
II. マーケットの動向	7
III. 第12期(2017年3月期)第2四半期決算概要(連結)	12
IV. 経営概況	18

# I . 決算のポイント、主なトピックス

# I-1 決算のポイント

## ■ 売上高

✓ 連結売上高は358億円となり、前年同期比▲8.2%の減収、公表予想に対し▲3.2%未達

✓ 国内売上高は319億円となり、前年同期比▲8.2%の減収

業界全体のコンクリートパイルの需要が減少する中で、大型物件はほぼ前年並みであったが、中小型物件が前年下期対比では回復したものの前年同期の水準に届かず減収

✓ 海外売上高は38億円となり、前年同期比▲7.6%の減収

ベトナムPV社の業績が好調に推移したことによりベトナムドンベースでは3.2%の増収となったものの、円高により円ベースでは減収

## ■ 利益

✓ 連結営業利益は13.3億円となり、前年同期比▲20.5%の減益、業績予想に対し2.7%の過達

✓ 国内の営業利益は8.7億円となり、前年同期対比▲39.1%の減益

減収と5ヵ年計画に基づく生産・施工設備の増強、研究開発の継続実施等によるもの

✓ 海外の営業利益はベトナムPV社が好調なこともあり4.7億円と前年同期比+93.4%の増益となり、連結利益に寄与

## I-2 主なトピックス

### 技術開発 (詳細次頁)

- 9月 ジョイントカプラ工法を開発、国土交通大臣認定を取得
- 9月 MAGNUM-BASIC工法開発(国土交通大臣の認定取得は10月)

### 国内生産

生産能力の増強、高強度123N杭の生産体制の整備

### 国内施工

施工機械・機材の増強

### 海外展開

#### ベトナム

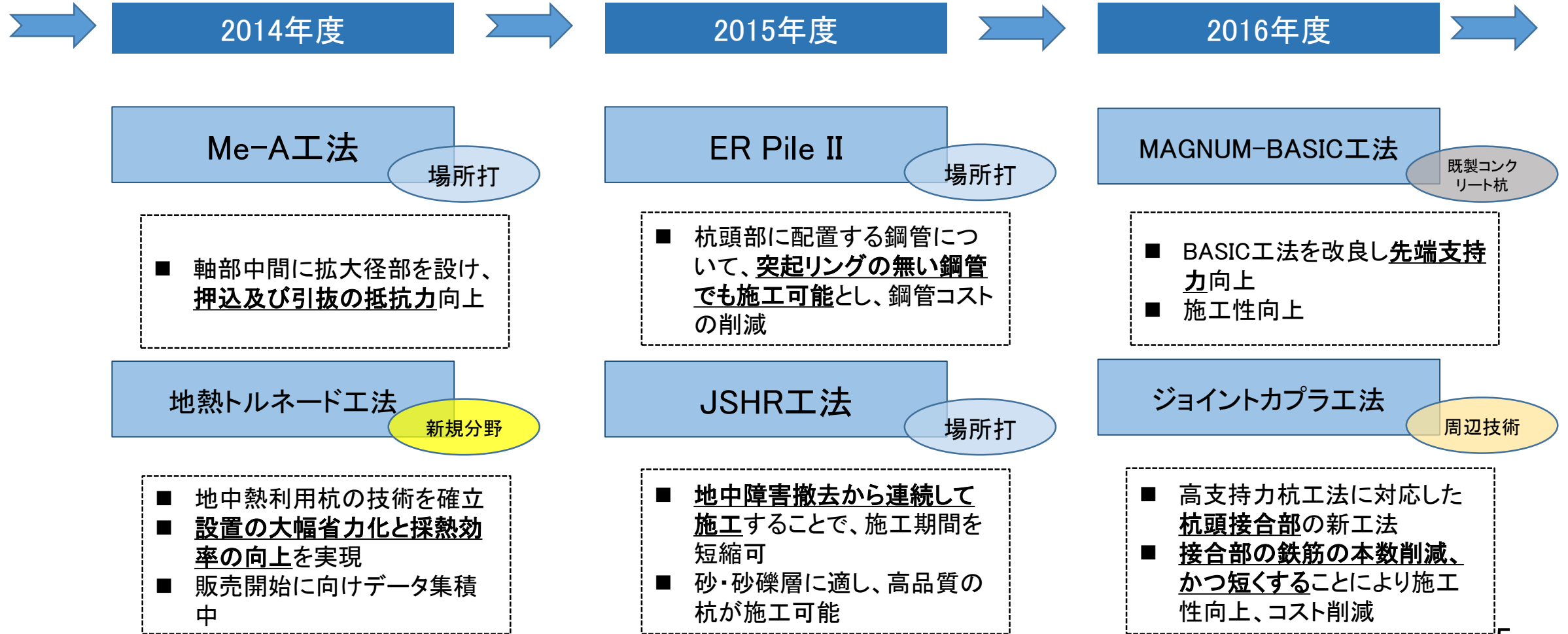
- 4月 ハイズン工場改修完了
- 7月 ロンアン工場の第二ライン新設起工、カントー工場改修完了
- 9月 PV社あて出資比率を52.4%から62.4%へ引き上げ

#### ミャンマー

- 8月 VJP社、工場建設許可取得、工場建設着工

# I-3 技術開発-①

■ 大型工事への対応、高支持力実現のための多面的な技術開発を継続しています



# I-4 技術開発-②

Me-A工法



ER Pile II



MAGNUM-BASIC工法

α、ηの関係

参考図

Dp: 杭先端部の径(mm)  
 $L_1$ : 杭下根固め長さ  
 $0 \leq L_1 \leq 2Dp$ (mm)  
 $L_2$ : 根固め部上端から杭先端までの長さ  
 $L_2 = 3Dp$ (mm)  
 $L_p$ : 根固め部長さ  
 $L_p = L_1 + L_2$ (mm)

杭下根固め長さ $L_1$	0	1.0Dp	1.2Dp	1.5Dp	2.0Dp	
$\eta$	0	1.0	1.2	1.5	2.0	
$\alpha$	砂・礫	200	335	350	350	350
	粘土	260	330	330	330	330

地熱トルネード工法



JSHR工法



ジョイントカラ工法

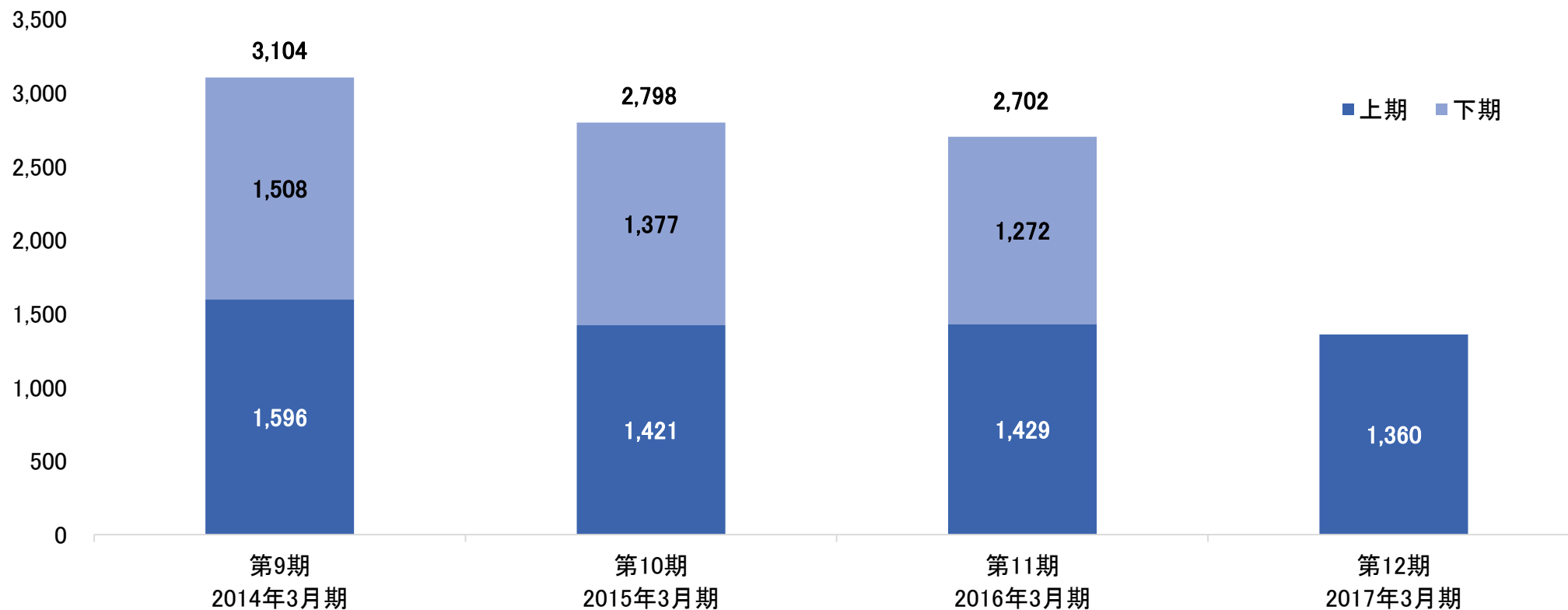
## Ⅱ. マーケットの動向



## Ⅱ-1 全国コンクリートパイプ出荷量

(単位:千トン)

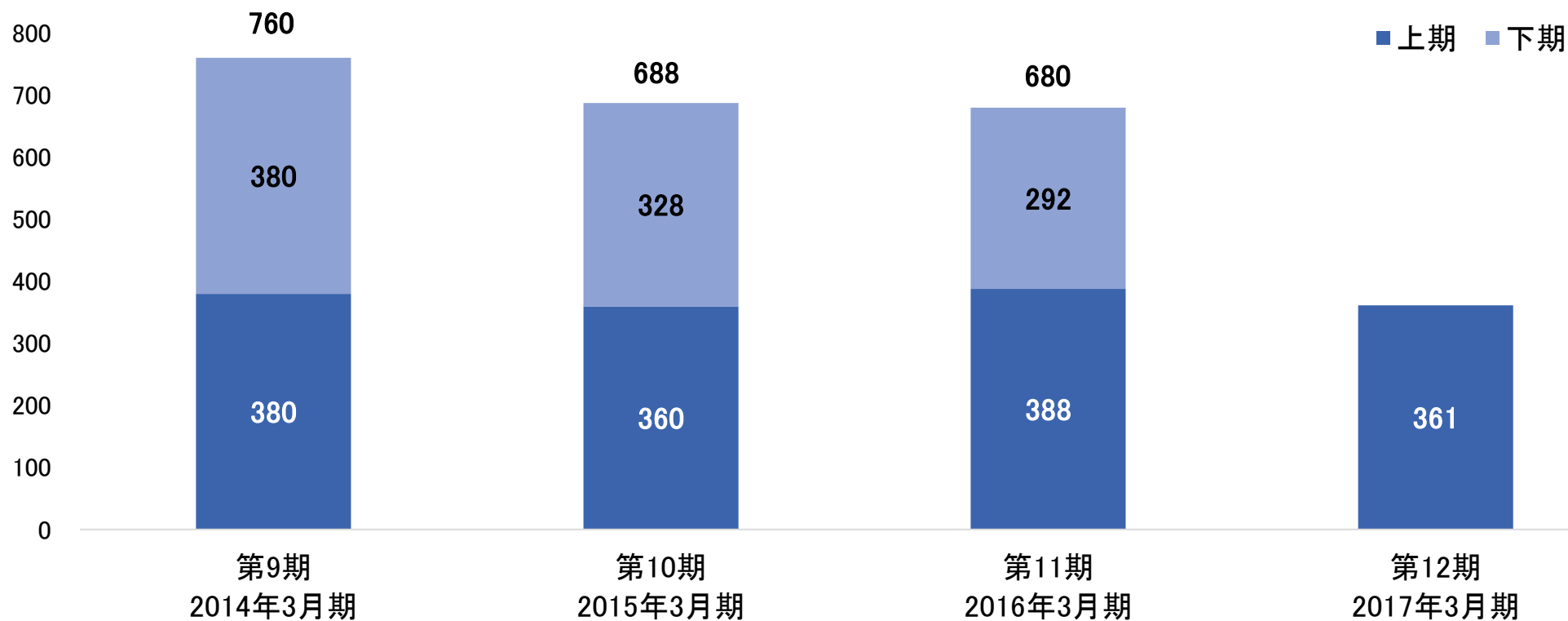
(出典)一般社団法人 日本コンクリートポール・パイプ協会資料



■ 2016年度上半期は、対前年同期比で▲4.8%減少

## Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイロ完工量(国内)

(単位:千トン)



■ 2016年度上半期は、前年同期比で▲7.0%の減少

## Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

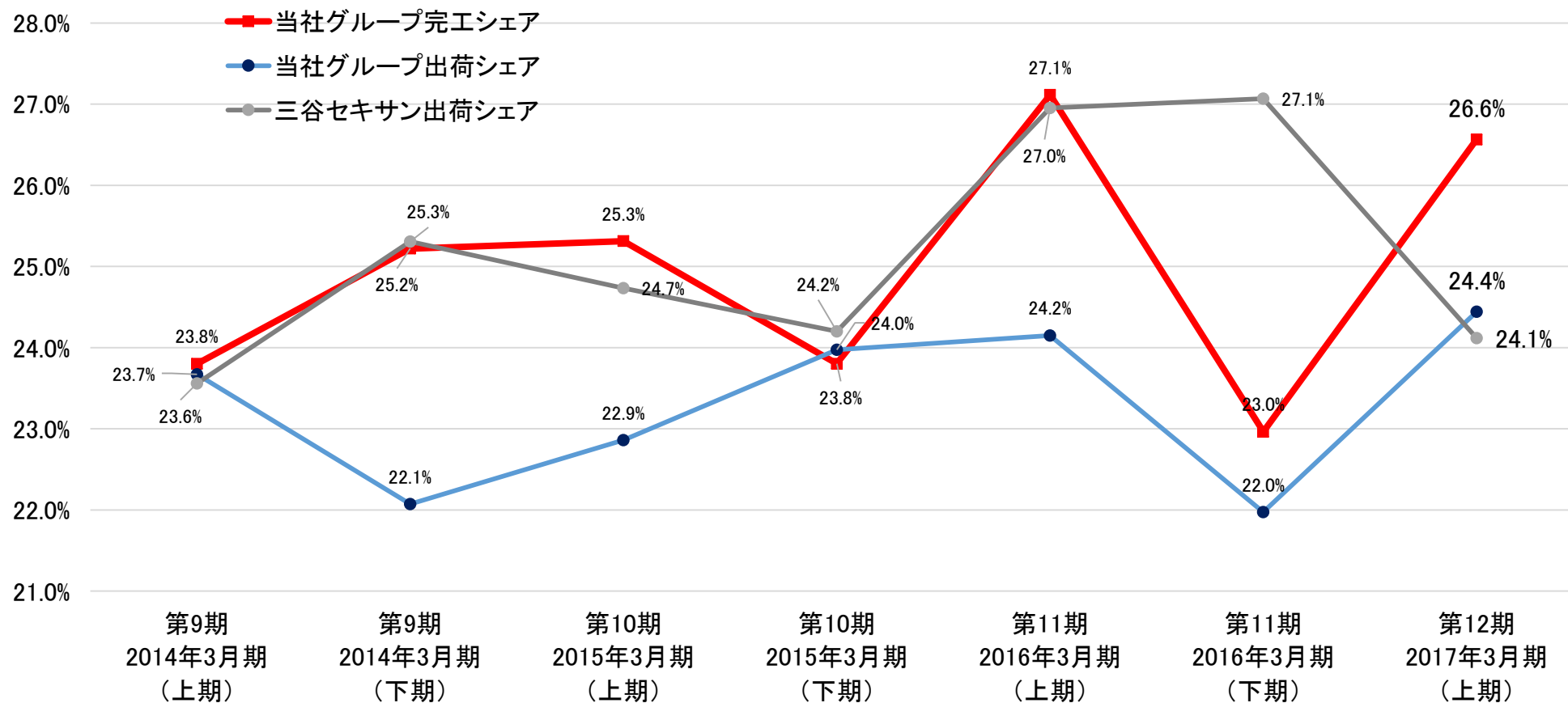
(出典)一般社団法人 日本コンクリートポール・パイル協会資料および当社社内資料

		第9期 2014年3月期 (上期)	第9期 2014年3月期 (下期)	第10期 2015年3月期 (上期)	第10期 2015年3月期 (下期)	第11期 2016年3月期 (上期)	第11期 2016年3月期 (下期)	第12期 2017年3月期 (上期)
当社グループ	完工量(千t)	380	380	360	328	388	292	361
	シェア	23.8%	25.2%	25.3%	23.8%	27.1%	23.0%	26.6%
	出荷量(千t)	378	333	325	330	345	280	332
	シェア	23.7%	22.1%	22.9%	24.0%	24.2%	22.0%	24.4%
三谷セキサン	出荷量(千t)	376	382	351	333	385	344	328
	シェア	23.6%	25.3%	24.7%	24.2%	27.0%	27.1%	24.1%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	117	124	108	132	113	104	108
	シェア	7.4%	8.2%	7.6%	9.6%	7.9%	8.2%	7.9%
日本ヒューム	出荷量(千t)	135	135	132	119	123	127	131
	シェア	8.5%	8.9%	9.3%	8.6%	8.6%	10.0%	9.6%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	97	99	91	107	75	83	72
	シェア	6.1%	6.6%	6.4%	7.7%	5.3%	6.6%	5.3%
その他	出荷量(千t)	493	435	413	357	388	333	389
	シェア	30.9%	28.9%	29.1%	25.9%	27.1%	26.2%	28.6%
業界全体	出荷量(千t)	1,596	1,508	1,421	1,377	1,429	1,272	1,360
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■ 出荷シェア、完工シェアとも高水準を維持

## Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 日本コンクリートポール・パイル協会資料および当社社内資料



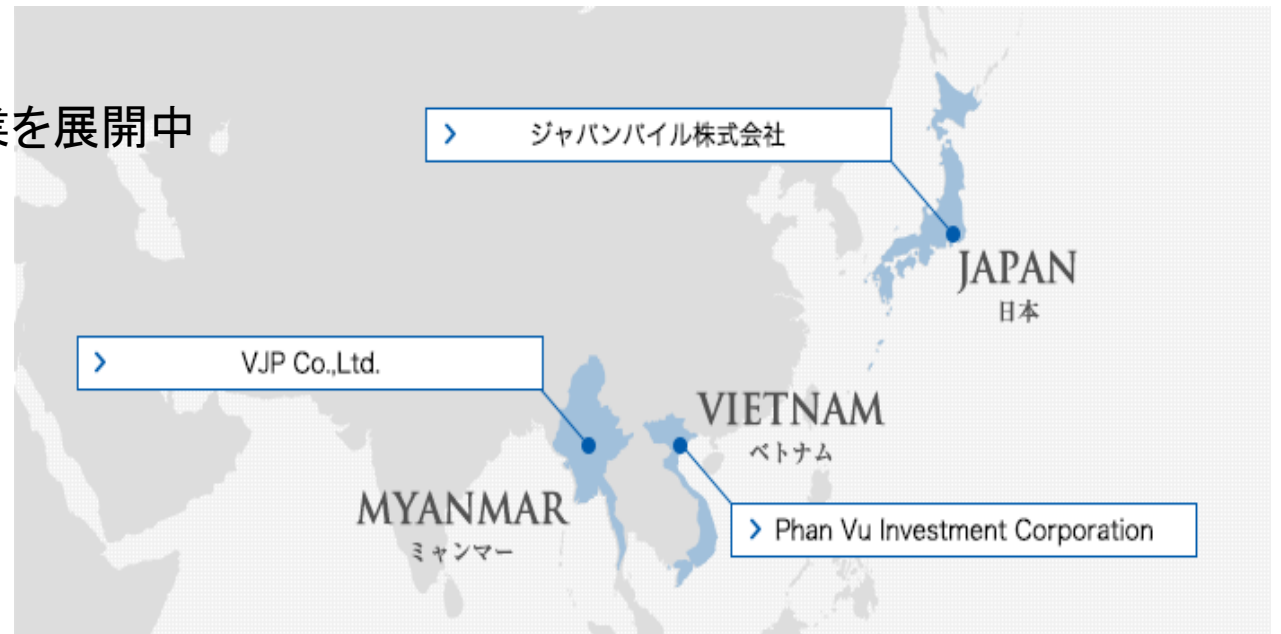
### Ⅲ. 第12期(2017年3月期)第2四半期決算概要(連結)

## Ⅲ-1 事業の状況

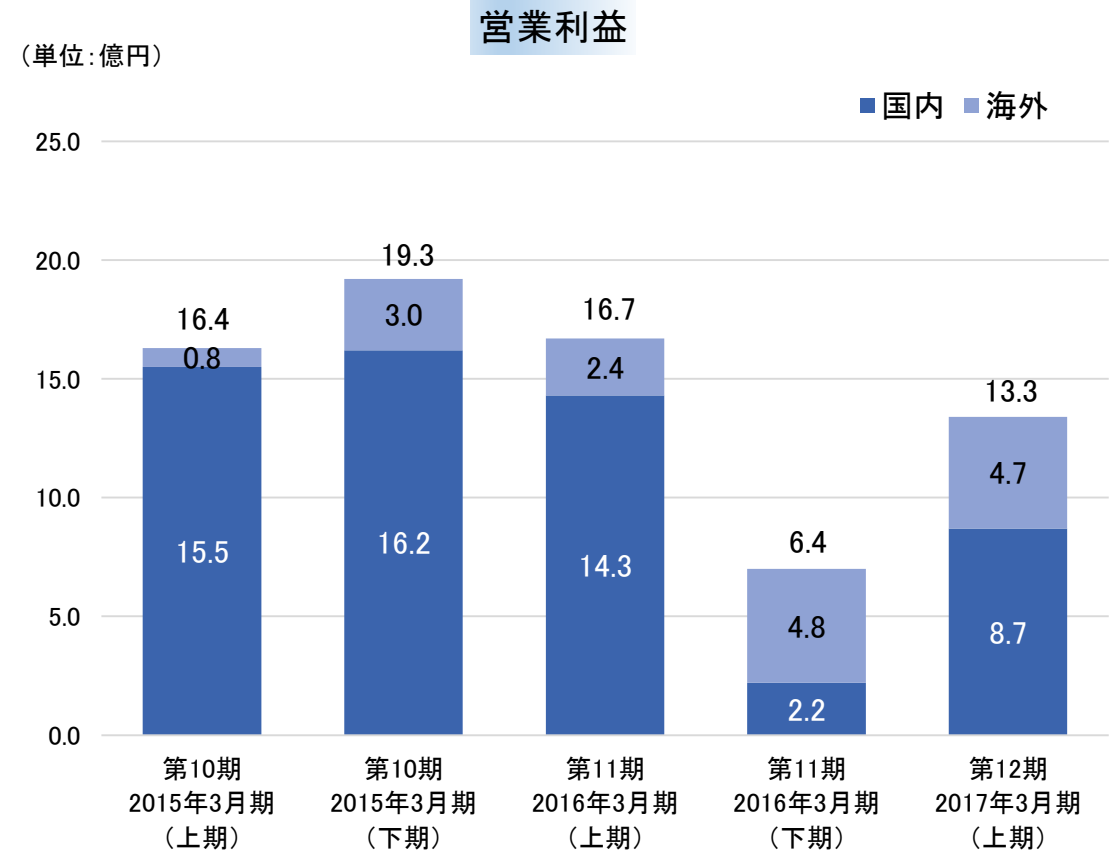
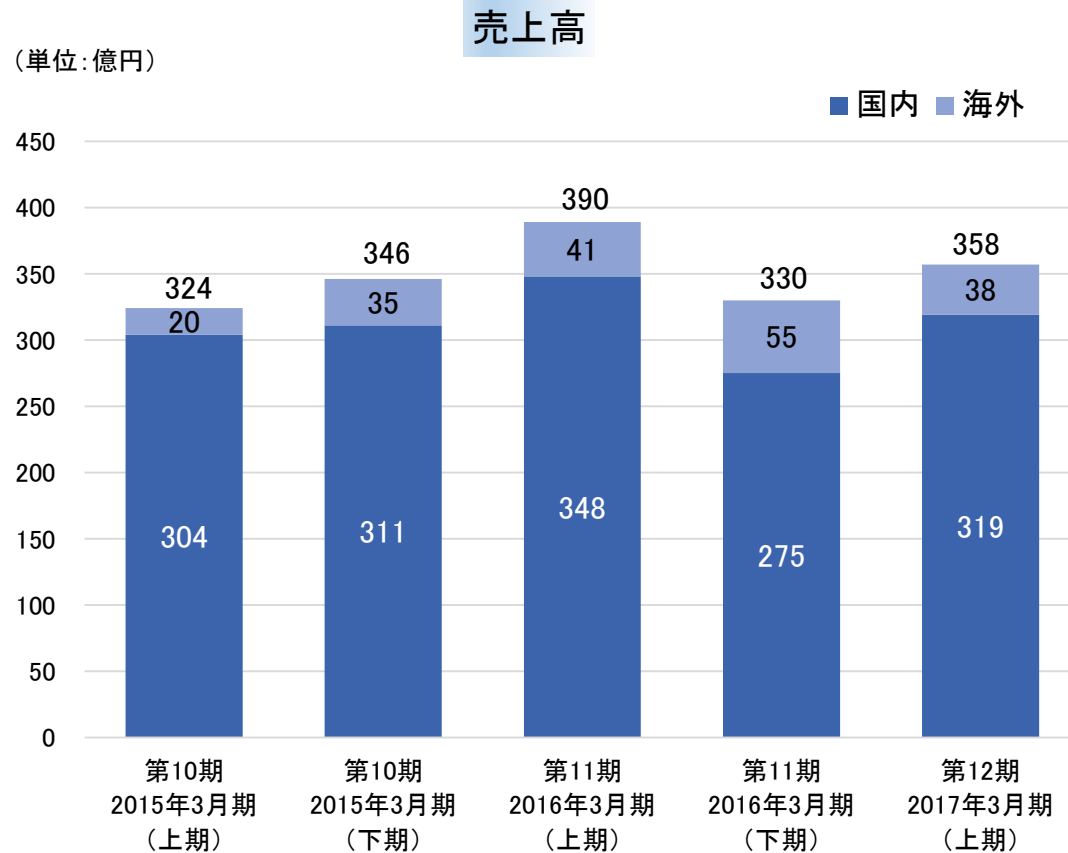
- 当社グループは、持株会社の当社の下、3社の事業会社(グループ)を各国に配置する構成

- 日本およびベトナムでは、基礎建設関連事業を展開中

ミャンマーでは、事業開始に向け工場建設中



## Ⅲ-2 連結売上高・営業利益推移



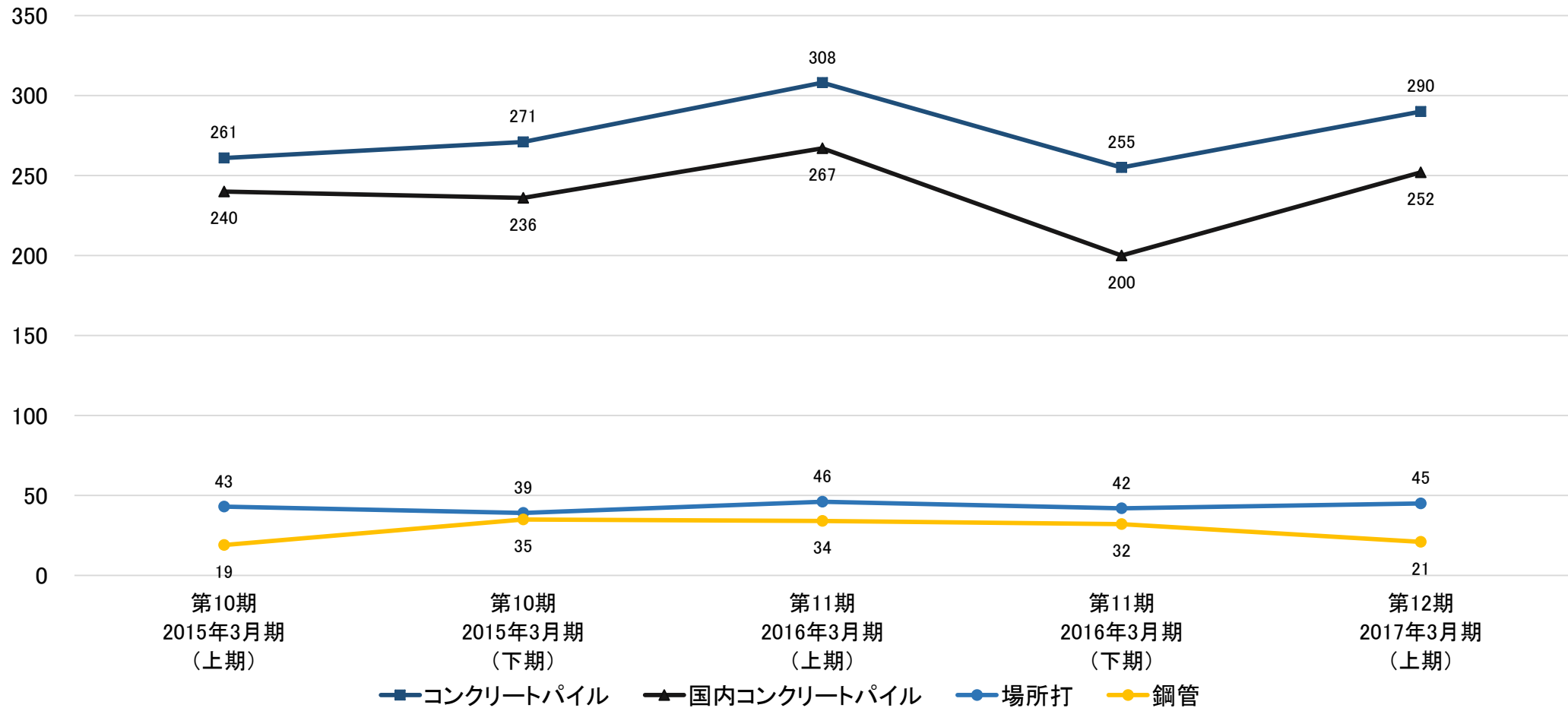
■ 売上高は前年同期比▲8.2%、業績予想比▲3.2%

■ 営業利益は前年同期比▲20.5%、業績予想比+2.7%

(注) 売上高、営業利益の国内・海外内訳については連結調整前の数字を表示しております。

### Ⅲ-3 連結部門別売上高推移

(単位:億円)





## Ⅲ-4 連結損益計算書

(単位:百万円)	第10期 2015年3月期 (上期)	第10期 2015年3月期 (通期)	第11期 2016年3月期 (上期)	第11期 2016年3月期 (通期)	第12期 2017年3月期 (上期)	第12期 2017年3月期 (通期)【予想】
売上高	32,485	67,169	39,003	72,078	35,806	74,000
売上総利益	5,239	10,613	5,602	10,097	5,159	—
営業利益	1,640	3,573	1,679	2,324	1,334	2,500
経常利益	1,718	3,666	1,671	2,235	1,203	2,300
税金等調整前当期純利益	1,710	3,415	1,679	2,286	1,196	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,157	2,396	1,132	1,432	846	1,450
売上高総利益率	16.1%	15.8%	14.4%	14.0%	14.4%	—
自己資本当期純利益率	—	10.2%	—	5.8%	—	5.7%

(第12期の自己資本当期純利益率は業績および配当の予想より算出)

## Ⅲ-5 連結キャッシュフロー計算書

	第10期 2015年3月期 (上期)	第10期 2015年3月期 (通期)	第11期 2016年3月期 (上期)	第11期 2016年3月期 (通期)	第12期 2017年3月期 (上期)
(単位:百万円)					
税金等調整前当期純利益	1,710	3,415	1,679	2,286	1,196
減価償却費	708	1,514	847	1,861	986
売上債権の増減(△は増加額)	△ 275	291	△ 3,038	953	△ 4,444
たな卸資産の増減(△は増加額)	△ 13	△ 834	164	△ 571	△ 1,348
仕入債務等の増減(△は減少額)	△ 561	832	1,687	△ 2,024	2,378
その他	△ 910	△ 969	△ 1,793	△ 1,635	554
I. 営業活動によるキャッシュフロー	658	4,249	△ 453	870	△ 676
有形固定資産の増減	△ 1,020	△ 3,080	△ 966	△ 3,529	△ 1,040
投資有価証券の取得	△ 1	△ 2	△ 1	△ 33	△ 1
その他	565	△ 57	△ 373	△ 339	△ 5
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 455	△ 3,140	△ 1,341	△ 3,902	△ 1,048
借入金・社債の増減	△ 678	△ 988	2,162	3,289	△ 510
配当金の支払	△ 248	△ 456	△ 252	△ 502	△ 218
その他	△ 184	△ 572	△ 110	△ 116	△ 780
III. 財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,112	△ 2,016	1,800	2,670	△ 1,508
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	10,651	10,741	10,675	10,301	6,874

## IV. 経営概況

## IV-1 経営概況

1. はじめに …… 景気の現状
2. 業界の動向
3. 上期の業績の特徴
  - (1) 大型工事の減少
  - (2) 中小型工事の回復
  - (3) 海外事業の進展
    - ①ミャンマー
    - ②ベトナム

## IV-2 経営概況

### 4. 当社の戦略の基本

- (1) 国内市場
- (2) 海外市場

### 5. 国内市場戦略

- (1) 工事实行力の強化
- (2) 基礎関連技術力の優位の確保
- (3) 提携戦略の進化

## IV-3 経営概況

### 6. 海外市場戦略

- (1) ローカル化の徹底
- (2) 日本の技術の移転
- (3) アセアン地域への持続的な拡大

### 7. 流用問題と業績



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。